

# **令和4年度補正予算事業 高等教育機関における共同講座創造支援補助金**

**令和5年3月8日 更新**

**経済産業省 産業人材課・大学連携推進室**

**※本資料に掲載している内容は現時点で想定する公募内容です。今後内容等が変更になる  
こともありますので、予めご了承ください。正式な公募要領は事務局から公表されます。**

# 高等教育機関における共同講座創造支援事業

令和4年度補正予算額 **3.6 億円**

## 事業の内容

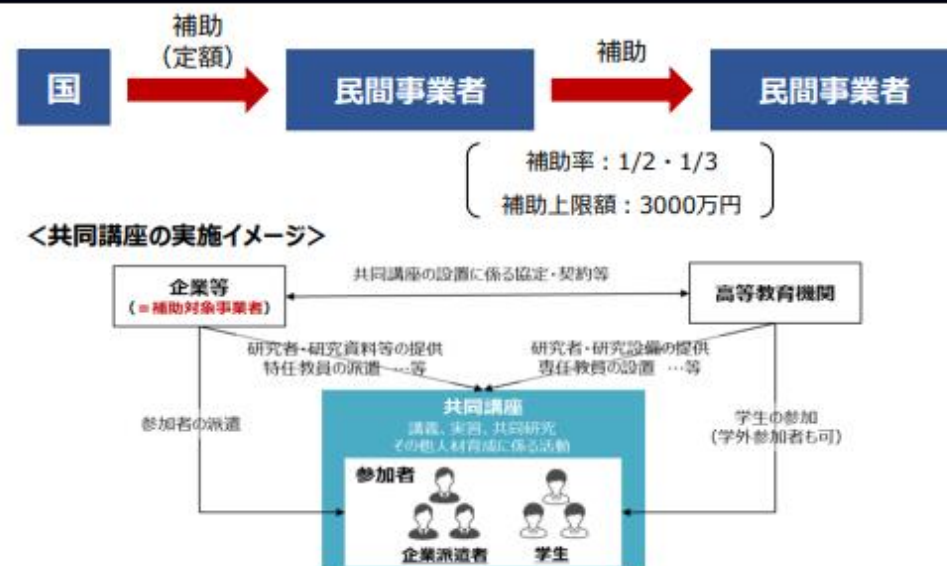
### 事業目的

「人への投資」の抜本強化のため、企業の求める人材を高等教育機関において育成する環境を整備し、もって、産業界のニーズに即した人材育成の加速化を図ることを目指し、企業等による、高等教育機関における共同講座設置への支援を講じる。

### 事業概要

企業等が、大学・高等専門学校等の高等教育機関において、自社が必要とする専門性を有する人材の育成を図るための共同講座を設置することを目的として費用を支出する際、当該費用の一部を補助する。  
また、リスキリングと処遇の連動を推進するため、共同講座によるリスキリングの成果を処遇に反映する場合には、補助率を1/2へ引き上げる。

## 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



## 成果目標

高等教育機関における共同講座開設・受講を通じて、先端分野で求められる高度な専門性を備えた研究開発人材を育成する。

# 目次

1. 高等教育機関における共同講座創造支援事業の概要
2. 補助対象事業者の要件
3. 補助対象事業の要件
4. 補助対象経費
5. 補助率

**(参考) 令和3年度補正予算事業における採択事例**

# 1. 高等教育機関における共同講座創造支援事業の概要

- 企業の求める人材を高等教育機関において育成する環境を整備し、産業界のニーズに即した人材育成を加速化するため、企業等が高等教育機関と連携して共同講座を設置する費用を補助します。

補助率1/3又は1/2※

上限3,000万円の助成

※補助率1/2は、共同講座によるリスキニングの成果を処遇に反映する場合に適用

## ■ 補助対象経費

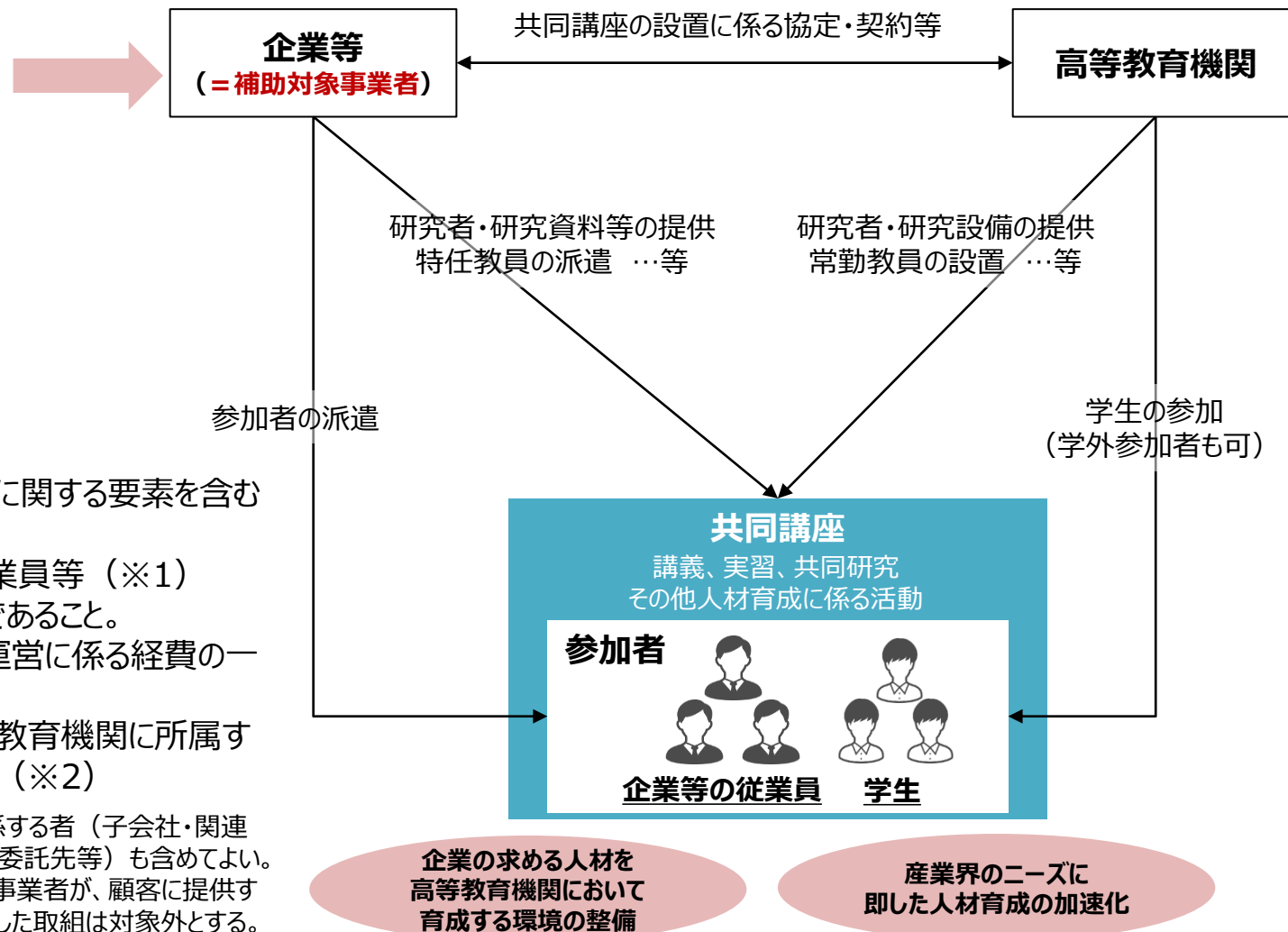
- ✓ 共同講座運営費
- ✓ 人件費
- ✓ 委託費・外注費
- ✓ 備品・機材導入費
- ✓ その他諸経費

## ■ 共同講座とは

- ① 設置の目的として、「人材育成」に関する要素を含むものであること。
- ② 学生や、補助対象事業者の従業員等（※1）向けに、講義等を実施するものであること。
- ③ 企業等が当該講座等の設置・運営に係る経費の一部又は全部を拠出していること。
- ④ 当該講座の担当者として、高等教育機関に所属する常勤教員が置かれていること。（※2）

※1 補助対象事業者の事業に密接に関係する者（子会社・関連会社の従業員、業界団体会員、協業する委託先等）も含めてよい。ただし、営利事業として研修等を提供する事業者が、顧客に提供する研修プログラム等を開発することを目的とした取組は対象外とする。

※2 補助対象事業者の従業員等ではなく、原則、補助事業期間中に変更の見込みがないこと。



## 事例1) シナノケンシ社×信州大学工学部

### 講座設置目的：社内の人材の学び直し

小型モータの設計製造販売を得意とするシナノケンシ社は近年ロボティクス分野に注力をしているが、それを担う人材として、社内を中心にロボティクスxデジタル分野の人材を育成したい。

### 講座設置目的：学生へ実践機会の提供

機械制御設計・データサイエンスを基礎から応用レベルまで体系的に教育可能であり、開発現場の実例・実践を通して学生を育成したい。

シナノケンシ社



人材課題の持ち寄り、講座設置を依頼

開発現場の知見・事例を担当

共同講座の設置



専任教員のアサイン・講座の設置

制御・データサイエンスを担当

信州大学工学部



### デジタル人材 育成共同講座 (ASPINA)

#### [講座分野]

制御工学分野・情報工学分野

#### [主なカリキュラム]

先端産業論・制御設計・データサイエンス概論(講義・実習・実践的PBLを含む)

#### [講座の特色]

自社社員・工学部学生両方を対象とし、企業と大学がそれぞれの立場から相互に関わり人材育成を行う講座を設定。事前学習と課題解決型学習を組み合わせ、育成效果の最大化を図る。

シナノケンシ社社員



#### [育成したい人材像]

データを扱える  
ロボティクス人材

#### [活躍の場]

社内でロボティクス開発・データ分析を担当し  
既存のモータ技術を生かしロボット分野での  
成長を狙う

工学部学生



#### [育成したい人材像]

開発現場に関する  
知識・実践経験・関心  
を持つ人材

#### [活躍の場]

特に関心と適性がある人材は  
シナノケンシ社で社会実装に取り組む

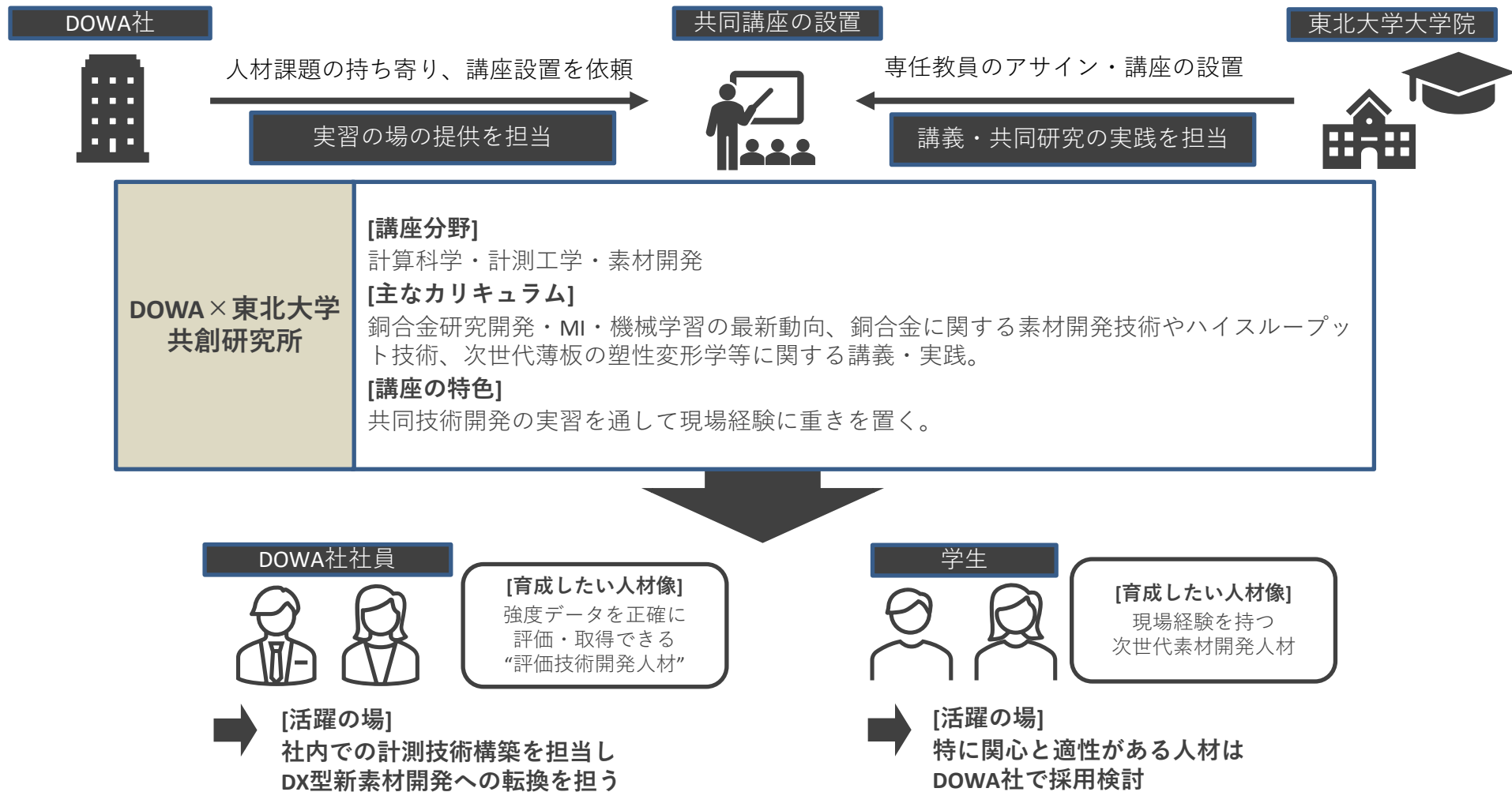
## 事例2) DOWAホールディングス社×東北大学大学院工学研究科

### 講座設置目的：自社でDX型素材開発を担う人材を育成

デジタル技術によりMIのような素材開発に変革が起きている。  
素材開発をDX型へ転換していくうえで、正確・効率的なデータ取得・分析を行うための計測技術を構築できる人材を育成したい。

### 講座設置目的：現場の開発スピードを学生に体感させる

デジタル化によりパラダイムの変化した計測技術を、素材開発の現場等で経験し、将来的に次世代の素材開発を担う人材を育成したい。



※東北大学 グリーン×デジタル産学共創大学院プログラムとも連携

## 2. 補助対象事業者の要件

- 以下の要件を全て満たす事業者を想定しています。

- ① 日本国内に登録し活動実績のある法人であること。
- ② 補助事業を遂行できる財務状況であること、または具体的な資金調達計画があること。
- ③ 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しないこと。
- ④ 経済産業省所管補助金等交付等の停止及び契約に係る指名停止等措置要領（平成15・01・29 会課第1号）別表第一及び第二の各号第一欄に掲げる措置要件のいずれにも該当しないこと。

### 3. 補助対象事業の要件

- 本補助事業における共同講座の定義及び補助対象事業要件は、以下の通り想定しています。

#### ■ 共同講座の定義

以下の①～④をすべて満たすこと。

- ① 設置の目的として、「人材育成」に関する要素を含むものであること。
- ② 学生や、補助対象事業者の従業員等（※1）向けに、講義等を実施するものであること。
- ③ 企業等が当該共同講座等の設置・運営に係る経費の一部又は全部を拠出していること。
- ④ 当該講座の担当者として、高等教育機関に所属する常勤教員が置かれていること。（※2）

※1 補助対象事業者の事業に密接に関係する者（子会社・関連会社の従業員、業界団体会員、協業する委託先等）も含めてよい。ただし、営利事業として研修等を提供する事業者が、顧客に提供する研修プログラム等を開発することを目的とした取組は対象外とする。

※2 補助対象事業者の従業員等ではなく、原則、補助事業期間中に変更の見込みがないこと。

#### ■ 補助対象事業要件

- ① 予算成立日（2022年12月2日）から応募日までの間に共同講座を設置することを決定（※）しており、2023年12月末までに開始するものであること。
- ② 総活動時間が15時間以上であって、原則20名以上の参加者を想定するものであること

※令和3年度補正予算事業で採択された事業者については、同事業に関する効果検証を踏まえて適切な見直しや改善を検討したうえで、2022年12月2日から応募日までの間に講座の内容を新たに見直すことについて、補助対象事業者と高等教育機関の両者において決定すること。

# 3. 補助対象事業の要件

## ■留意点

- 対象分野としては、人文系・学際系等も含め、分野を問わず幅広く対象とする。
- “共同研究”についても、実習やPBL形式等、人材育成に資する取組は対象となるが、研究成果を広く学生・従業員等に提供するオープン講義等の実施が必要。
- 「共同研究講座」「社会連携講座」等、共同講座の名称は問わない。

(対象とならないものの例)

- ・人材育成の目的を持たない「研究委託」に類する取組
- ・オープン講義等の実施予定が無く、共同研究のみの取組 等

## 4. 補助対象経費

- 共同講座の設置・運営に当たり、企業等が支出する下記の費用を対象とする予定です

**補助率：1/3又は1/2** ※補助率1/2は、共同講座によるリスキングの成果を処遇に反映する場合に適用

**補助上限額：3,000万円（税抜）/事業**

| 費目       | 概要                                                  | 例                                                                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 共同講座運営費  | 共同講座の設置に当たって高等教育機関に協力を依頼する際に支払う費用                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高等教育機関への共同研究費</li><li>・ 高等教育機関への業務委託費 等</li></ul>                                     |
| 人件費      | 共同講座等の運営に係る企業等の従業員の人件費（共同講座運営費で支出するものを除く）           | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特任教員等として研究・教育に携わる従業員の人件費 等</li><li>・ 共同講座の設置に向けた検討のために高等教育機関へ常駐する従業員等の人件費 等</li></ul> |
| 委託費・外注費  | 共同講座等の設置・運営に必要な業務を外注・委託する費用（共同講座運営費で支出するものを除く）      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オンライン会議サービスの契約費用</li><li>・ WEB制作・広報費用</li></ul>                                       |
| 備品・機材導入費 | 共同講座の設置・運営に必要な備品・器材等を購入・リース等する費用（共同講座運営費で支出するものを除く） | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 共同講座の運営に当たり必要となる試験機器等の購入費、消耗品等の購入・リース費用</li><li>・ 講座等の配信設備 等</li></ul>                |
| その他諸経費   | その他事業を行うために特に必要と認められる諸経費                            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 講師派遣や参加者の講座受講等に係る旅費・宿泊費、講師への謝金</li><li>・ 共同講座に利用するオフィス賃料</li></ul>                    |

## 5. 補助率

- リスキリングの成果と処遇の連動は、リスキリングに対する従業員のモチベーションを向上させる観点からも重要です。
- 本補助事業では、共同講座を通じた従業員等のリスキリングの成果を処遇に反映する場合には補助率1/2が適用されます（リスキリングの成果と処遇の連動に係る取組を行わない場合には、補助率1/3が適用されます）。

### ■要件

補助率1/2の適用に当たっては、共同講座に係る3. 補助対象事業の要件を満たしていることに加えて、以下の要件を満たしていること等を要件とする予定です。

- 共同講座の受講者に原則として10名以上の従業員等又は従業員数の10%以上の従業員が含まれること。
- 共同講座の実施に伴い、
  - (a) 昇進・昇給等の処遇を措置することを社内の就業規則等で規定し（次ページを参照）、
  - (b) 当該措置について、共同講座の実施に先立ち、従業員等へ周知すること。

- 補助率1/2を適用するための要件（a）に規定する昇進・昇給等の処遇については、以下の①又は②を実施することを要件とする予定。

## ① 講座の履修状況・成績等を踏まえ、昇進・昇給を実施する

（例 1）労働協約又は就業規則その他の社内規定等において、講座の履修状況・成績又は講座受講後の能力向上・行動変容を昇進又は昇給の要件として規定する。

（例 2）職務記述書等に特定のポストの要件として、講座の履修状況・成績を位置づけた上で、当該ポストについて社内公募を行い、結果としてポストに採用された者の昇進又は昇給を実現する。

## ② 講座を受講し、一定の履修状況・成績等を満たした従業員に一時金を支給する

（例）労働協約又は就業規則その他の社内規定等において、一定の履修状況・成績等を満たした者に一時金を支給することを規定する。

## **(参考) 令和 3 年度補正予算事業における採択事例**

# R3補正予算事業 採択実績（合計23事業）

| 会社名                             | 連携高等教育機関                              | 共同講座名称                                      |
|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------|
| アルー(株)                          | 京都大学                                  | パドキシカルリーダーシップ産学共同講座                         |
| アルファフュージョン(株)                   | 大阪大学                                  | アスタチン創薬実用化共同研究部門                            |
| (一社) 臨床医工情報学コンソーシアム関西<br>(株)小野組 | 大阪大学<br>新潟大学                          | スマートコントラクト活用共同研究講座<br>社会インフラ共創講座            |
| クオリティソフト(株)                     | 和歌山大学                                 | レジリエントクラウド共同講座                              |
| (株)コミュニティメディア                   | 長崎大学                                  | 海洋デジタルツイン構築講座                               |
| シナノケンシ(株)                       | 信州大学                                  | デジタル人材育成共同研究講座                              |
| DOWAホールディングス(株)                 | 東北大学                                  | DOWA×東北大学共創研究所                              |
| 東洋システム(株)                       | 福島工業高等専門学校                            | カーボンニュートラル社会連携講座                            |
| (株)豊田自動織機                       | 名古屋工業大学                               | 豊田自動織機スマートインダストリー連携講座                       |
| 富士通(株)                          | 慶應義塾大学大学院                             | システム × デザイン思考プログラム（実践リーダー育成コース）             |
| プラスマン合同会社                       | 岡山大学                                  | 医療情報化診療支援技術開発講座                             |
| (株)ポピンスプロフェッショナル                | 東京大学                                  | 現任保育士の課題に対するアプローチと対処方法の実践                   |
| リアルテックホールディングス(株)               | 神戸大学大学院                               | リアルテックアントレプレナー育成講座                          |
| (株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ             | 神戸大学                                  | 機能性ガス分離膜共同研究講座                              |
| 信栄工業有限会社                        | 阪南大学                                  | 畜産農業のスマート化のためのデータサイエンス共同講座                  |
| セルスペクト(株)                       | 一関工業高等専門学校                            | ヘルステック創生医理工連携講座                             |
| ソフトバンク(株)                       | 九州工業大学<br>名古屋工業大学<br>電気通信大学<br>筑波技術大学 | 手話言語等の多文化共生社会連携事業講座                         |
| (株) 博報堂                         | 京都大学                                  | 地域創生どうしよう講座                                 |
| (株) プライムスタイル                    | 早稲田大学                                 | 事業変革型DX人材育成実践講座<br>～企業内DXを推進するフレームワークとその活用～ |
| MabGenesis(株)                   | 名古屋大学                                 | MabGenesis産学協同研究講座                          |
| 三菱電機(株)                         | 慶應義塾大学大学院                             | システムアーキテクト研修                                |
| メディカル・ケア・サービス(株)                | 神戸大学                                  | 介護事業所責任者の専門性向上講座                            |